

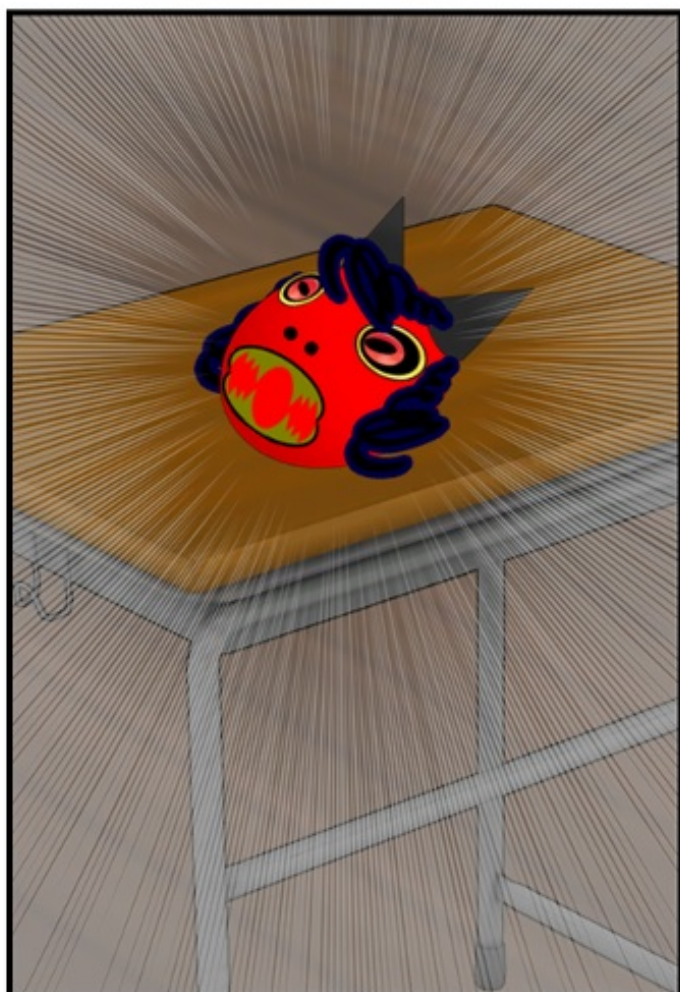
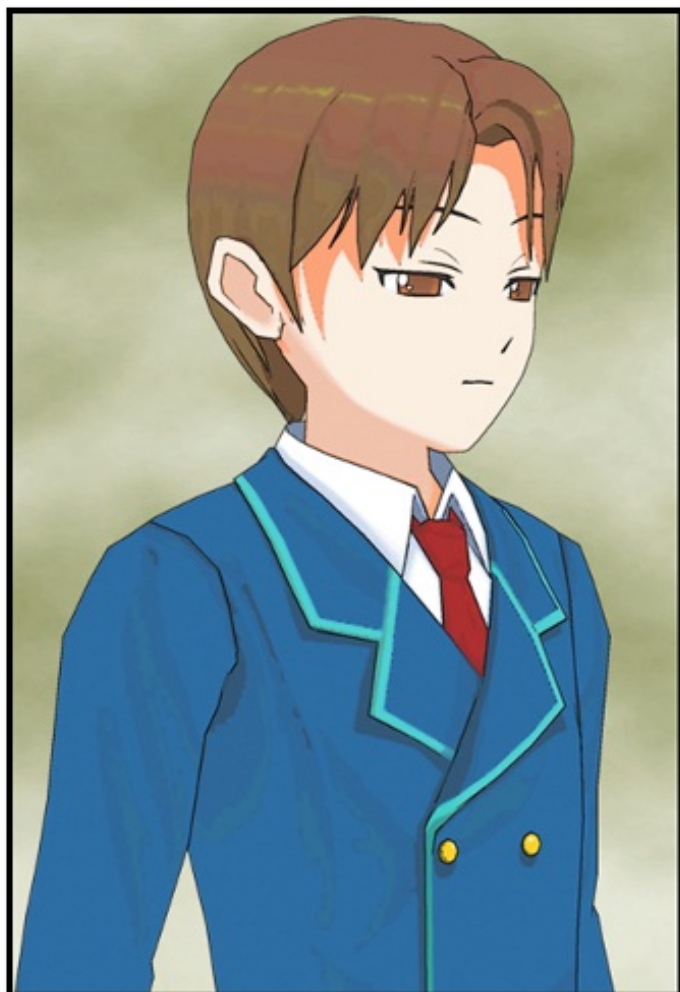
かましん!

『マツロウヌモノ』

脚本：アストン=路端
画像：コミポ!

www.comipo.com





かしくん はたらく!

『マツロウヌモノ』

脚本：アストン＝路端
画像：コミポ!

www.comipo.com



あー
豆まきですか
何事かと
思いましたよ

や…
厄除けすれば
良いんですよね？



ひいらぎいわし
桐篭ですね

鯛を焼く臭いで
鬼を追い払う…

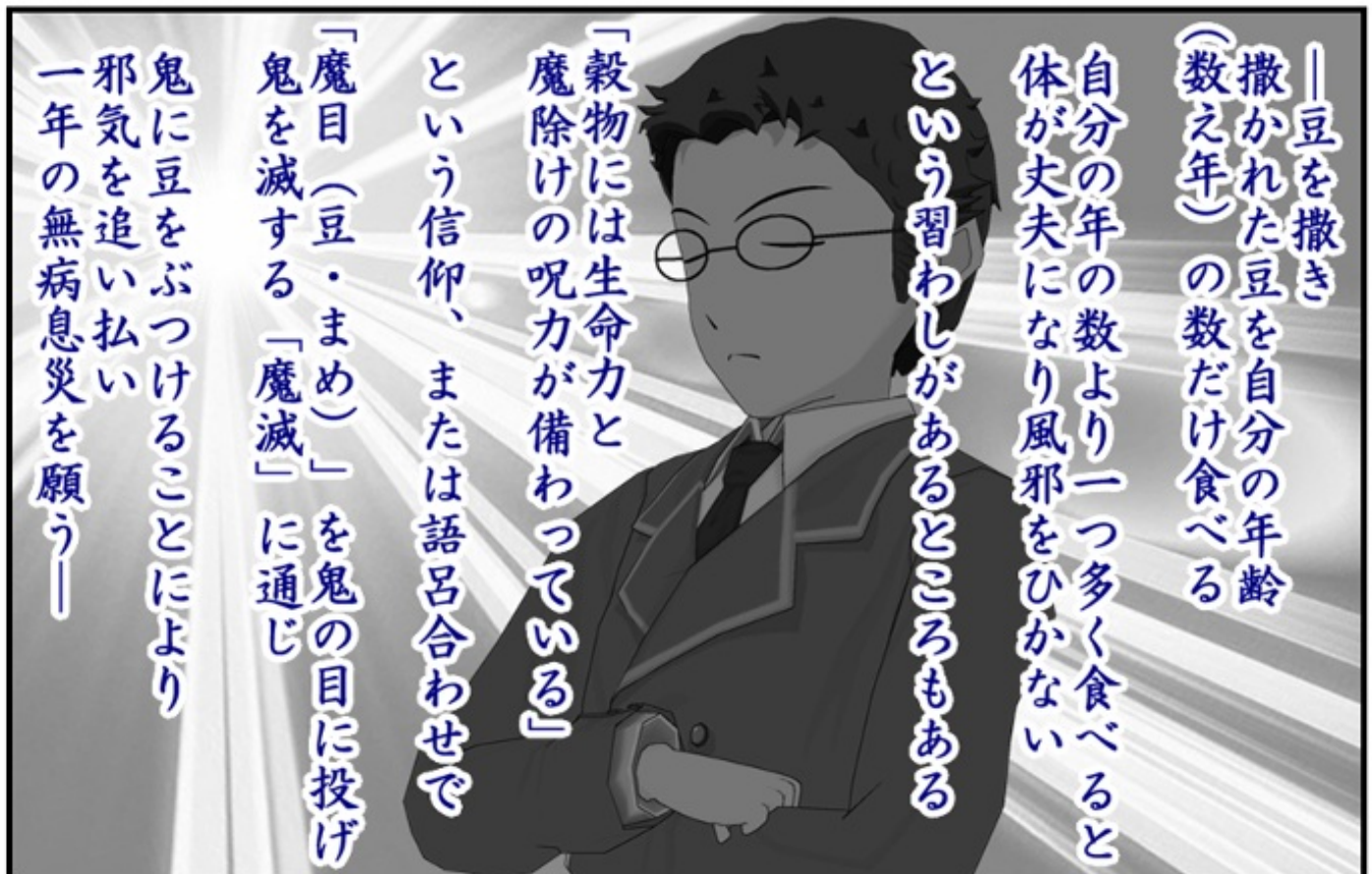
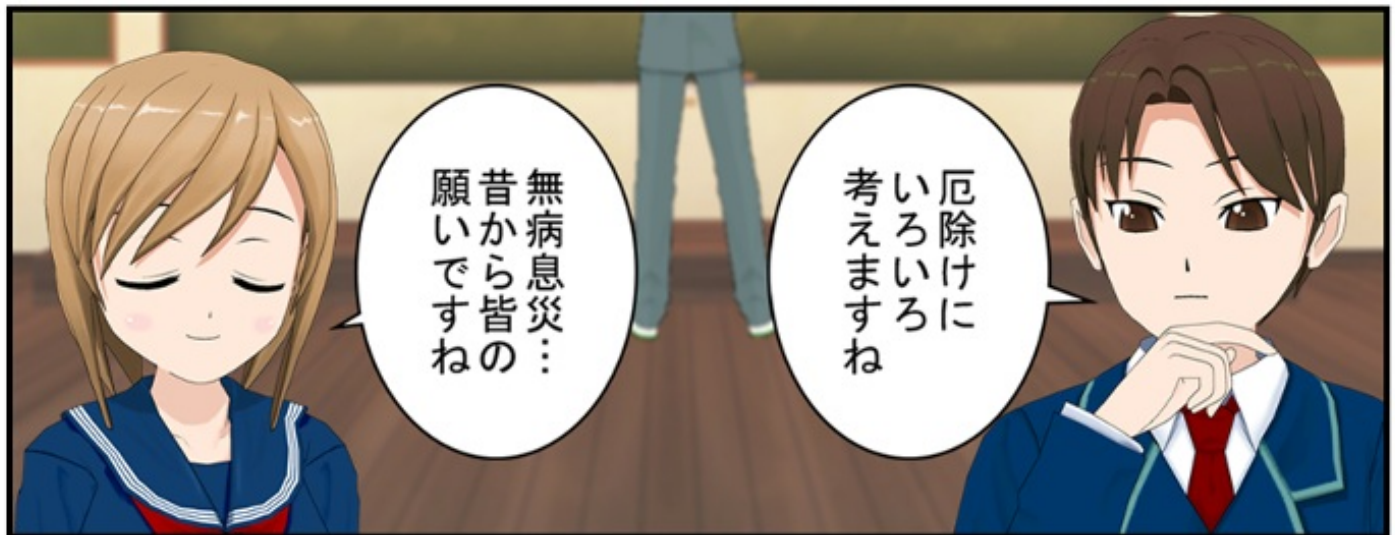
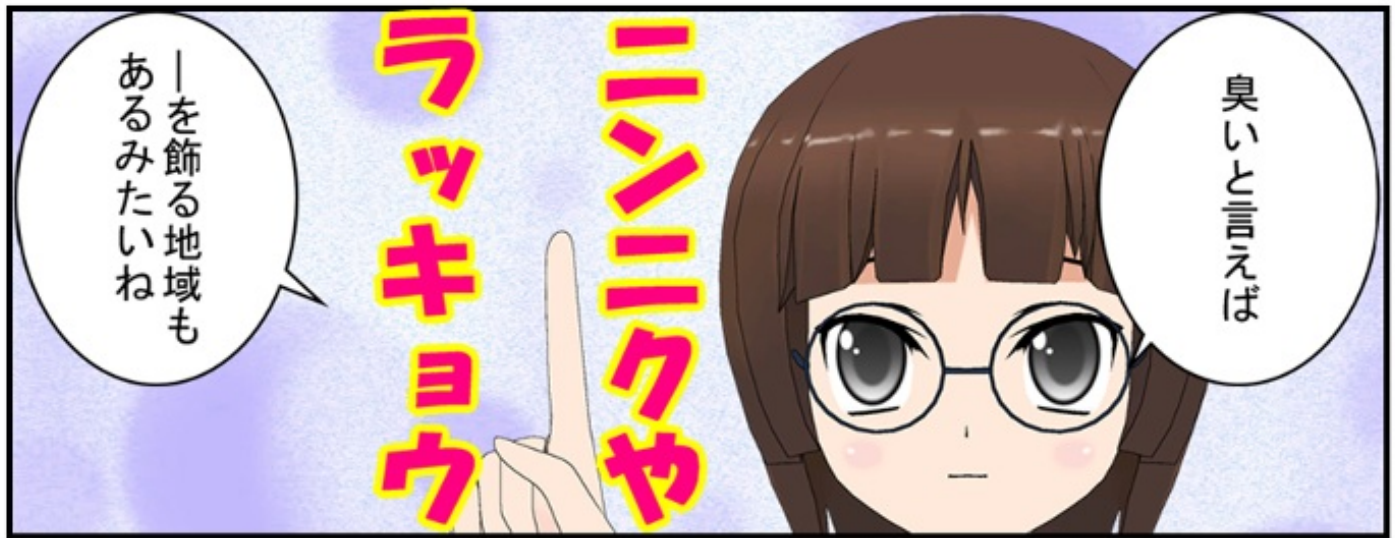
桐の葉の棘が
鬼の目を刺す

臭いで誘って
葉の棘で刺す
って説もあるわ



まあ、そうね

炒り豆を撒いて
年の数だけ食べたり
鯛を門口に飾ったり



何^ナ故^ゼそこで

鬼^{オニ}なのか？

『鬼（オニ）』

季節の変わり目には
邪気（鬼）が生じると
考えられており

それを追い払うための
悪霊ばらいが行われる

『オニ』の呼称は

姿の見えないもの
この世ならざるものを指す

『隠（オヌ）』から転じた

古くは
『モノ（怨霊）』と言い

『悪いもの』
『恐ろしいもの』の
代名詞である

一方で

古事記（こじき）や
上記（うえつふみ）には

『荒ぶる鬼（カミ） 神』

との記述があり

自然崇拜の文化が
あったことを思えば

仏教伝来以前にあった
民間信仰の神を思わせる

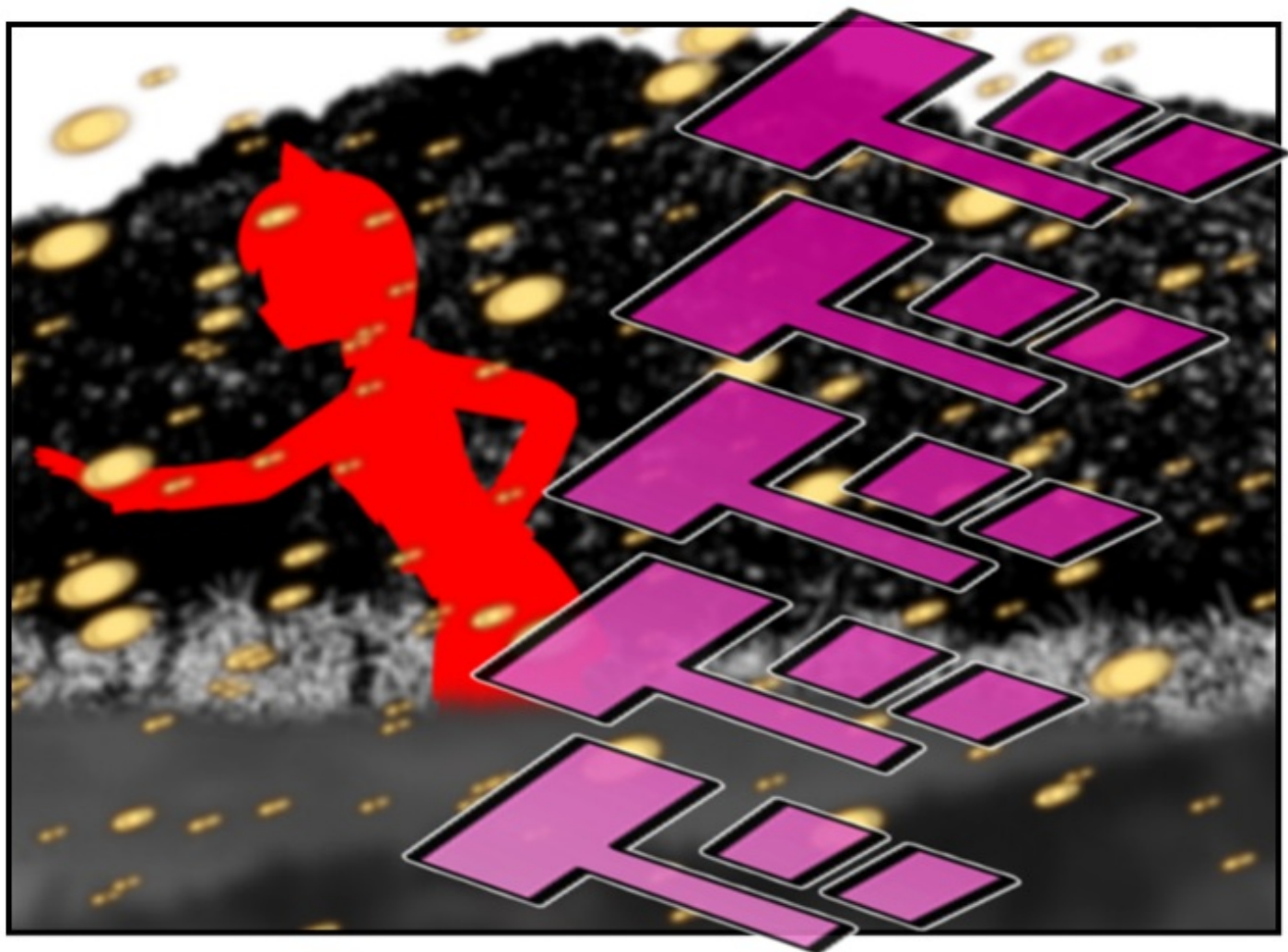
『まつろわぬ（服従せぬ）』

との記述から
自然現象だけでなく
朝廷への逆逆者など

『安定した世界を
犯すものの総称』

とも考えられる





自分達にとって
不都合なもの—

それらを全て
—鬼と呼んだ

のかもしれない





立春の前日は

大寒の最後の日

最大の寒さを乗り切ろうと

健康を祈ったのだろうか

鬼の名はきつと

人智を超えたものへの敬意

畏敬の念は今もなお

僕らの心を

どこかで支えている



カル
けん!!



『マツロワヌモノ』完

カルけん！！（１７）

<http://p.booklog.jp/book/94081>

著者：アストン＝路端

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/robounoishi2009/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/94081>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/94081>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ